

## パネリストのプロフィール

**菱田泰弘氏** 1998年法務省入国管理局採用、2007年内閣官房副長官補（安全保障・危機管理担当）付参事官補佐、2009年法務省入国管理局入国在留課翻訳官、2010年法務省大臣官房秘書課国際室法務専門官、2012年大阪入国管理局審査管理部門統括審査官、2013年外務省在ニューヨーク総領事館領事、2016年4月から現職。

**池上清子氏** 大阪大学にて博士号取得。UNHCR、国連本部（公財）ジョイセフ、IPPF、UNFPA、（公財）プランジャパンなどで活動。開発途上国の女性の健康、難民を含む国際人口移動、HIV/エイズなどの諸問題に取り組む。ニューズウィーク日本語版特集「世界で活躍する日本人女性100人」の一人に選ばれた。長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科教授。

**吹浦忠正氏** 早稲田大学大学院修了。国際赤十字東パキスタン、インドシナ各駐在代表。埼玉県立大学教授、聖心女子大学非常勤講師などを経て、財団研究推進担当常務理事、ユーラシア21研究所理事長。1964年の東京五輪以来、国家的行事で世界の国旗を担当。難民を助ける会の創立以来の役員。社会福祉法人さぼうと21理事長。

**ホフ ゴム ラット ソウ氏** ミャンマー北部のカチン州出身。2010年にミャンマーで高校卒業。翌年、先に日本に来ていた父のもとへ母、弟と共に合流。2012年10月まで工場で働き、その後日本語学校で学び、再び飲食店などで働き、2016年にUNHCR 難民高等教育プログラムに合格し、2017年4月、明治大学農学部に入學。

**川内敏月氏** 福岡県出身。東京大学法学部卒、英国ランカスター大学平和学専攻修士課程（M.A.）修了。1997年から国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）職員としてアフガニスタン、ボスニア・ヘルツェゴビナ、南スーダンなどアジア、ヨーロッパ、アフリカで勤務の後、2017年7月からUNHCR駐日事務所副代表（法務担当）。